

キラリ☆地域人

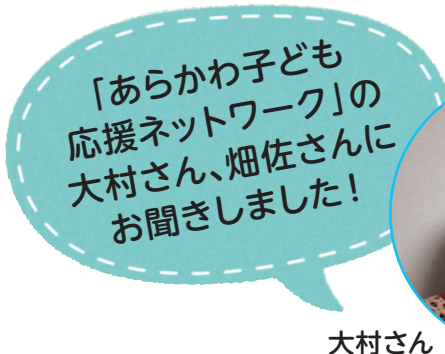
～地域には、キラリと光る人がいる～

荒川区には様々な活動を通して「福祉のまちづくり」のため、活躍されている方々がいます。今回はその活動の一部をご紹介します。

現在荒川区には毎月1回以上
食事の提供を行う子ども食堂が5か所、
毎週一回以上食事の提供と学習支援を
行う子どもの居場所が5か所あります！

あらかわ子ども応援ネットワーク

荒川区内での子ども支援の輪が広がっています。



大村さん



畑佐さん

「あらかわ子ども
応援ネットワーク」の
大村さん、畑佐さん
にお聞きしました！



“ソーシャルファミリーをつくりたい”

子どもへの学習支援を通して、帰宅後の支援も必要だと感じ社協に相談しました。そこで歳末たすけあい・地域福祉募金を財源とした助成金を受け、学習支援と食事の提供を行う『子ども村：中高生ホッとステーション』を立ち上げました。現在は幅広い年代の人がスタッフとして関わり、1つの空間に子どもから大人までが集まるファミリーのような関係ができています。今後も家族のように喧嘩をしても別れない関係をつくっていきたいです。

“みんなで食べるごはんはおいしいよ！”

子ども食堂・子どもの居場所には、食材などを寄付して下さる方や料理や勉強を教えてくれるスタッフなどたくさんの人々が関わってくれています。子どもたちは、様々な世代の人と関わっていく中でいろいろな体験をし、自分の居場所を見つけていきます。学校、家庭以外の第3の居場所として気軽にふらっと立ち寄れるような身近な場所を、皆さんと一緒につくっていきたいです。



“たくさんの支援をいただいています”

2014年に『子ども村：中高生ホッとステーション』ができてから3年あまりで、荒川区内に10か所もの子どもの居場所・子ども食堂ができました。そこで、各団体と情報交換等を行うために、行政や地域を巻き込んだ「あらかわ子ども応援ネットワーク」を2017年7月に結成しました。大きな成果として、1人の子どもにより多くの人に関われるようになったことや食材などのご寄付を一括していただけることで必要な団体に分けられるようになり、多くの方々から活動を支援していただけるようになったことです。

問合せ先

私も何かできるかも！もっと詳しい話を聞きたい！など皆さまからの問合せお待ちしております！！

あらかわ子ども応援ネットワーク(荒川ボランティアセンター内) TEL3802-3338 FAX3802-3831 <http://ftimes-arakawa.tokyo/akon/>

長年、障がい者施設の利用者さんと一緒にリサイクル自転車を提供してあげています。安心・安全な自転車を提供することが自転車屋の使命です。保険(TSMマーク)にも加入しておりますので、安心してお乗りください。

新井会長のコメント



荒川区自転車商小売組合連合会
会長 新井 茂さん

販売日 毎月25日
販売価格 8,000円

※防犯登録料を含む

紹介します！
リサイクル自転車事業を
平成4年から26年間
にわたり、引き取り手がない放置自転車
をリサイクル自転車として販売
しています。この活動は区役所から
譲り受けた自転車を、荒川区自転車
商小売組合連合会にご協力をい
ただきながら、荒川区社会福祉協議
会が仲介して、区内の障がい者施設
に呼びかけ、施設の利用者さん達が
自転車に付着した汚れをふき取り、
ワイヤブレーキ、カゴ、鍵等を交換、
自転車安全整備士が安全点検を
行っています。毎月25日にリサイク
ル自転車協力店で販売し、売上金の
一部は、障がい者施設へ還元されて
います。

